

再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道4号 伊達拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県伊達市広前 至：福島県伊達郡国見町大字石母田字上野	延長	9.1km		
事業概要					
一般国道4号は、東京都を起点とし、郡山市、福島市、仙台市を経て、青森市に至る東北地方の産業・経済・文化の交流・連携を支える主要幹線道路である。伊達拡幅は、交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的としている。					
S56年度事業化	S56年度都市計画決定	S57年度用地着手	S61年度工事着手		
全体事業費	180億円	事業進捗率	77%	供用済延長	4.3km
計画交通量	26,500台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 4.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 44億円/269億円 事業費：33億円/248億円 維持管理費：11億円/20億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 180億円/540億円 走行時間短縮便益：174億円/523億円 走行経費減少便益：0.94億円/8.3億円 交通事故減少便益：5.1億円/8.5億円	基準年	平成21年
感度分析の結果					
【残事業】 残事業について感度分析を実施					
交通量変動：B/C=4.8(交通量 +10%) B/C=3.2(交通量 -10%)					
事業費変動：B/C=3.8(事業費 +10%) B/C=4.4(事業費 -10%)					
事業期間変動：B/C=4.0(事業期間 +20%) B/C=4.2(事業期間 -20%)					
事業の効果等					
①交通混雑の緩和					
・拡幅整備により、県内直轄国道平均より高い当該区間の混雑緩和が見込まれる。 (Co2排出削減量：7,360t-co2/年)					
②交通事故の軽減					
・死傷事故率が県内直轄国道平均より高い区間が存在し、拡幅整備により事故件数の減少が期待される。					
③道路ネットワークの信頼性の向上					
・並行する東北縦貫自動車道では、冬期の気象状況などによる通行止めが発生しており、拡幅整備による交通容量増加により、幹線道路の信頼性向上が期待される。(通行止め実績：年平均22.6回)					
関係する地方公共団体等の意見					
福島県・福島県伊達地方町村議会議長会から早期整備の要望を受けている。 県知事の意見：再評価(案)については、異議ありません。なお、事業の実施時に更なるコスト縮減に努めてください。					
事業評価監視委員会の意見					
対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
【執行済み額】事業費：138億円(進捗率77%) うち用地費：60億円(進捗率83%) 平成18年度までに、伊達市字広前から桑折町大字上郡字仲丸の4.3km区間が供用している。また、隣接する0.5km区間について今年度末の供用を予定している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
事業進捗に係る問題はない。平成21年度内に4車線拡幅済み区間の終点部から国見町方向へL=500mの供用を目指す。また残区間4.3kmについて、早期の供用を目標に事業を推進する。					
施設の構造や工法の変更等					
再生資材の活用、建設発生土の事業間利用の推進により盛土材のコスト縮減を図っている。					

